

清瀬各農産團体の幹部へ大衆の運び立たしの件が召集して申訴的に基金の
収集や手元に行はれたのみではかづた木、我々は從来、ストライキ
又は廻覆に就いて、基金の収集と小食料の手引建等に全力を集中し
ストライキの収集に就いて考へて唯解決の合理化に苦心してねたの
ではかづた木？ 我々の誤謬は（一）大衆的斗争の意義に就いて全
然無理解だったこと（二）首領賃下等の問題の持述の間に專心し
從つて自然農生斗争への進路（三）既に全然大立場大立場への組織活動を
すれども（一）生きた現実の問題を形式的に取扱かつたり
相象的小公式的に廻覆したりして勞働者に此の場で争奪を起させる様子
方体で問題を置議しきづた事（四）指導機関と下部組織の有機的聯
繫が絶たれ此證つて本部の過失を介金（不支）か大衆的に批判しきづた
事（五）其の結果本部は下部組織と全然孤立化して重大なる過失を犯
せ方があつた點等を合理化し（六）一貫した首領の下に行動せず問題に
直面するところの対策に醉して問題の正しい發展を考慮せず（七）アムヤ
山に率つてねた以上のかく、小立場組織の正しい評價がふれず、
大立場組織化の意義を忘却し組合も私自身が曰和見主義にからねつて
ぬた（八）か大体我々の中心的過失であつた、では前記の過失の責
任は一体誰が負ふべきであるか、勿論本部水夫に負わねばからぬ失
責であるが（九）然しこの重大なる階級的錯誤こそ本部の責任以上に
会員諸君の責任もあるべき筈だ、何とからば（十）ロレタリアの集団
的行動は漸じて六、七の指導者によつて左右されるべきものでなく、
らの正しいイニシアチブ（暴動）によつてのみ決定されるのがからだ
れ（十一）ボロレタリア、手モクラシの鉄の如き原則だ（十二）

全組員は大体のスジレタリア運動等諸派に次第してねた木（一）の事
案を具体的に示さう、見ろよ我々は河岸川渠会にでも大衆的（？）に
決議させた等の議案は大半決議測准に於つてねる事実は何を物語るか
力關係で止むを得ないと言つて正々堂々と申す（一）此れとも本部のサボ
タージエと言ふのである木？ 本部がサボタージエは無論係に是認す
るとして考へることにしよう（二）本部がサボタージエしたからと
言つて全組員がサボッてはかづいことは言と申レフ（三）
本部がサボつたときはその本部員とサボラフ様に辨達しなほす
カル奴は即ち安し、眞に戰闘的に行動する本部をさづき上けること
必要である、だが本部は一度だつて下からの批判と拒否した事があ
いのだ、むしろ下から批判を何時でも拒めてねる筈だ、全組員が
自ら決議即実行の原則を破壊してねるのではかづうか、杳もうだ
と言い得る状態である、どうであるとすれば此の原因は何木？ それ
は組合員全体があらゆる問題に対して（四）大勢順應（五）附和雷同（六）和見
主義があつた木（六）ではかづうか？ 想起せよ（七）三鉄争議の赤テロ事件
を（八）当時本部員は全部隊中へ強奪された時荷役公員は果して本部の
再建を計つた木？ 異に又裁者の諸問題に際しても全般的大衆的批判
会の闘争を本部へ要求したるう木？ 又、自主的に介会不行つた事が
あつた（九）どうか？ 校務のストライキにいろ諸カンパニアにいろ、全
然我々は歎し、介会員はサボタージエしてねた事実つと果して何を物
語つてねる木？ 个の如き状態は吾々が苟生リにも日相見的であつ
たと言へよう、かく、う説去の失敗を勇敢に認め、精算し、再度失敗を
謀るへこどる様聲めなげれはふらぬ